

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月10日

計画の名称	飛騨・富山交流圏域における世界遺産を中心とした広域観光活性化計画												
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）									重点配分対象の該当			
交付対象	富山県												
計画の目標	富山県と岐阜県は東海北陸自動車道全線開通を契機に「富山・岐阜交流の日」を制定し、以前より交流を行っているところである。 当該地域は、ユネスコ文化遺産である「白川郷・五箇山合掌造り集落」を有しており、さらに近年ではユネスコ無形文化遺産として5つの山・鉾・屋台行事が新たに指定され、さらに魅力的な観光資源が増えたところである。 さらに東海北陸自動車道の4車線化整備も進むことが公表されていることから、ユネスコ文化遺産を中心とした周遊ルートが確立されつつある。 これからの公共交通ネットワークを生かし、さらに本計画にて一部を補うことで、周遊観光の推進等に合わせて社会資本整備を進めることで地域の活性化をさらに推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,280	A	2,280	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	【岐阜県・富山県 共通目標】 岐阜県（飛騨地域）と富山県（県西部・富山市）の観光入込者数を3,012万人＜R1＞から3,470万人＜R7＞に増加（15%の増加）			
	【岐阜県・富山県 共通目標】 観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の年間観光入込客数－R1の年間観光入込客数)／(R1の年間観光入込客数)	3012万人	万人	3470万人
2	【富山県 単独目標】 富山県（県西部・富山市）の観光入込者数を2,327万人＜R1＞から2,680万人＜R7＞に増加（15%の増加）			
	【富山県 単独目標】 観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の年間観光入込客数－R1の年間観光入込客数)／(R1の年間観光入込客数)	2327万人	万人	2680万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）４７１号 菅沼 折	バイパス L=0.8km	富山市	■	■	■	■	■	337		－	
	A11-002	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）４７２号 桧折	現道拡張 L=1.0km	富山市	■	■	■	■	■	911		－	
	A11-003	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）高岡環状線 波岡 ～長慶寺	現道拡張 L=0.4km	高岡市	■	■	■	■	■	350		－	
	A11-004	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）氷見惣領志雄線 川尻～飯久保	バイパス L=1.5km	氷見市	■	■	■	■	■	400		－	
	A11-005	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）砺波福光線 苗加	現道拡張 L=0.6km	砺波市	■	■	■	■	■	282		－	
												小計						2,280		
											合計						2,280			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	115	137	115	71	72
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	115	137	115	71	72
前年度からの繰越額 (d)	0	29	80	82	18
支払済額 (e)	86	86	113	136	60
翌年度繰越額 (f)	29	80	82	18	30
うち未契約繰越額 (g)	14	0	7	5	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	12. 63	0. 09	3. 48	2. 97	0. 00
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係者との協議に不測の日数を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 飛騨・富山交流圏域における世界遺産を中心とした広域観光活性化計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○